

科目	生化学・栄養学	時期	1年次前期	単位数	1単位	実務経験
		担当教員	加藤 元士	時間数	30時間	○(医師)
目的	1. 生物を構成する物質の構造と機能を理解し、体内における物質代謝のしくみを学ぶ 2. 人体の健康と栄養素の関係、また生活の中における食事のあり方について学ぶ					
目標	1. 生命体の構造と機能の最小基本単位である細胞の基本構造と細胞内小器官の役割が説明できる。 2. 三大栄養素(糖質、脂質、タンパク質)の構造、消化吸収、細胞内代謝が説明できる。 3. 酵素の作用について説明できる。 4. 核酸の構造、役割、遺伝情報からのタンパク質合成について説明できる。 5. ビタミンの役割、その欠乏症について説明できる。 6. ホルモンの生理作用について説明できる					
学習内容	<b>【生化学】</b> 1. 糖質代謝について 2. 脂質代謝、遺伝情報、先天性代謝異常 3. 蛋白質と脂質の関係 4. ヌクレオチド、核酸の役割 5. ヘムの分解とビリルビン代謝 エネルギー代謝の統合と制御 6. 抗がん剤と免疫抑制剤 臓器間の代謝 <b>【栄養学】</b> 1. 五大栄養素、栄養学の歴史 2. 日本人の食事摂取基準 3. 糖質、糖新生、血糖値の調整 4. 脂質、ビタミン、蛋白質、コレステロール 5. 水、消化、吸収、について 6. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 7. エネルギー代謝 8. ライフステージと栄養 9. 栄養ケアマネジメント、栄養状態の評価・判定					
授業形態	講義					
教材	人体の構造と機能(2)：臨床生化学 ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院 印刷資料					
評価	終講試験					